

# ひがしやまっ子



## 運動会に協力し声援ありがとうございました!



今年度の運動会は台風14号の影響で開催が延期となり、児童や保護者の皆様にも様々なご心配をおかけしました。20日の平日開催となり、当日は仕事の都合等で参観できなかった保護者の方もいたことと思います。半日開催、種目数の縮小、接触を控えた競技内容、入場者の制限等、様々な制限のある中での運動会が3年も続くことになるとは本当に想像もしていなかったことでした。子ども達は限られた中で時間を有効に使って、各色で学級でお互い励まし合って練習を重ねてき、その成果を存分に発揮でたのではないのでしょうか。

今年のスローガンは「拍手で応援！みんなが楽しい運動会」でした。コロナ禍で、声を張り上げての声援はできないものの、それぞれの学年が精いっぱい競技している姿を拍手で応援したいという思いや東山小のみんなが主体となって一人一人が楽しいといえる運動会にしたい思いが伝わってくる…思いのこもったスローガンでした。自分のことだけでなく仲間と共により良い運動会にしたいという思いが素敵です。

低学年の「**勇気100%**」の踊りは愛らしく見ているだけでほのぼのとしてくるものでした。中学年の「**東山ソーラン2022**」はわずかな間にもぐっとたくましくなった成長を感じる力強い踊りに引き込まれました。高学年の「**残響散歌～躍動～**」はフラッグを使った表現で、息の合った動きは見ていても気持ちよく、一振り一振りの音と子ども達の目線が素晴らしかったです。表現活動は一人一人の責任ある動きを仲間と共に表現し、一つのものをつくり上げていきます。一体感のある表現は本当に感動的でした。上級生の表現活動を見た下級生も次は自分達も踊りたいという思いにつながっていたようでした。

各学年の100m走は全力で走る気持ちよさ、赤白リレーでは各色のためにバトンをつなげる走りに責任感を感じるものがありました。今年はリレーの人数を増やしたこともあって、4人が一度に走るようになってしまいました。練習の時から6年生が下級生に寄り添い、バトンの受け渡し等を優しく教えている姿が印象的でした。

応援団も団長（赤組：山本 心海さん 白組：池 心結さん）を中心に応援リーダーのみなさんがマスクをつけての声だしやダンスなど、朝夕やお昼休み等の時間の隙間に練習を重ねて仕上げた素晴らしいものでした。総練習からの数日で、また一段とまとまりができた応援になっていました。限られた時間で応援内容の踊りや手拍子を考え全体でまとまりのあるものに仕上げるのは本当に大変だったと思います。5・6年生の係の仕事も総練習の反省を生かし、高学年がリーダーとして活躍している場面も多くありました。運動会を通して、自分の力を出し切ることやみんなで力を

合わせてつくり上げることが充実感につながるということを感じてくれたら嬉しいです。

また、最後まで温かな声援をしていただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。保護者の方の来場の人数を制限したことで、楽しみにされていたのに参観できなかったご家族の方やご親戚の方には大変ご迷惑をおかけしました。事前の健康観察も含めて、ご協力いただきありがとうございました。一家庭一役での運動会に関する仕事でお世話になった方、受付を引き受けていただきました学級理事の方やPTAの役員さん、早朝より本当にお世話になりました。運動会終了後のテントの片づけも多くの方が手伝って下さり、心より感謝申し上げます。来年こそはコロナも収束して、またいつもの多くの人で賑わう運動会が実施できますことを祈っています。運動会後の本読みカードや連絡帳等に嬉しい感想を寄せていただき、ありがとうございました。貴重なご意見も次年度につなげていきたいと思ひます。

行事を通しての様々な学びがこれからの学校生活につながっていけるようにしていきたいと思ひます。



東山小伝統の東山ソーラン、筋肉痛になりながら、練習がんばりましたね。



仕草が本当に可愛らしい1・2年生。リズムにのって踊れました。



5・6年生の。息のあったフラッグが曲に合わせて舞い上がります。目線が退場まで心ひとつになっていました。



紅白リレー、お昼休みにバトンの練習をした成果が発揮できました。6年生が選手に声掛けているのが素敵です。



1年生の親子競技、力を合わせて大玉ころがし…楽しみました。



6年生の親子リレー、真剣勝負だったり、お父さんやお母さんを気遣ったり…ほのぼのとしたひと時でした。